



あきたUNESCO

2021.3.20

No.61

■ 発行 秋田ユネスコ協会

事務局 〒010-0041 秋田市広面字鍋沼81-17 TEL&FAX018-835-9646
http://www.unesco.or.jp/akita/



奉仕活動30年をふりかえって

秋田ゾンタクラブ

会長 佐藤 康子

秋田ゾンタクラブは、2019年5月創設30周年に当たり、国際ゾンタ100周年と併せて記念行事を行った。コロナ感染拡大の前にお祝いすることができたことは大変幸運であった。

しかし、これまでイベントを中心に活動を展開し、奉仕活動資金をつくってきた私たちは、コロナ禍中において今後の活動の在り方をどうしたらよいか頭の痛いところである。創設当初から公的支援や経済団体等からの支援を全く受けることなく、会員会費・寄附による実費負担、ギフトフェア（バザー）売り上げ、チャリティ・コンサートの収益金で賄ってきた慈善団体であるから、何としても早くコロナが収束し、以前の豊かさが戻ることを祈っている。

この30年間、国際ゾンタの理念と使命に基づいた女性のエンパワーメントのための国際活動への寄附支援と並行して地域奉仕をメインに活動してきた。

創設直後から継続している「秋田ゾンタクラブ賞」の贈呈、「ギフトフェア」「健康セミナー」

の開催、2003年からは「チャリティ・コンサート」で若手アーティストの支援、留学生を含む大学生、一般社会人の社会貢献者表彰を、そして、あきたユネスコ協会が主催する「外国人による日本語スピーチコンテスト」に毎年奨励賞を授与している。

また、秋田市内4か所の公園に周年記念のしだれ桜植樹を行い、市民の憩いの場の提供に努めている。

2年ごとに開催する世界大会に参加し、加入63か国のゾンタ会員と交流することもスキルアップにつながる大きな喜びである。

今後、秋田ユネスコ協会、ソロプチミスト秋田など国連機関につながる目的を共有する他団体との交流、連携によって若者の育成を図り、秋田ゾンタクラブの活動をより多彩に拡大していけるのではないかと考えている。

最後に、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲さんが諭す『知恵』と『ほんとうのやさしさ』の魔法を探して、国際ゾンタにふさわしい活動を続けたい。

CONTENTS

奉仕活動30年をふりかえって	1
オンライン語らいカフェ 未来につながる今を語ろう	2
私の国際協力活動	4
金森秀夫・翠会員よりご寄附! 明桜高校イオンモール秋田文化祭 ハーモニーネットWeeks リレーエッセイ	5
東北地域ユネスコブロックオンライン会議 News Board	6



こどもたちの日独交流

オンライン語らいカフェ

未来につながる今を語ろう



新型コロナウイルスの感染で、今年度は「外国人による日本語スピーチコンテスト」も「語らいカフェ」も実施できないまま月日が過ぎていった。それに代わる何かができないかと考え、オンラインによる留学生との「語らいカフェ」を実施することとした。

1月30日、カビール ムハムドゥル理事をファシリテーターに、秋田大学学生6人、秋田工業高等専門学校学生2人が参加して、コロナ禍の中での生活、苦悩、今後の希望などについて語りあった。

自己紹介とコロナ禍での生活

カビール：私はバングラデシュ出身で、秋田ユネスコ協会の理事です。25年前に秋田に来て、最初は秋田高専の学生でした。その後秋田大学に入学して、現在は秋田大学電気電子工学科の教員です。私の研究室には大学院生5名、学部生3名がおります。

今日の語らいカフェの司会進行を務めます。語らいカフェは、次のようなプログラムで進めていきたいと思えます。

1. 自己紹介（出身地、学校名など簡単に）
2. 秋田での生活

コロナ禍の前

現在の生活(コロナ禍で困っていることなど)

3. コロナ禍後 やってみたいことなど

ムハマド ファイズ：マレーシア出身で秋田高専の5年生です。秋田に来て3年目です。私は昨年3月に帰国したのですが、コロナの感染拡大のために日本に戻れなくなってしまいました。オンラインで連絡していましたが、高専の授業は普通に行われていたので、大変でした。

グエン レ ホアン：ベトナム出身で秋田大学の1年生です。秋田に来てすぐ大学が閉鎖され、授業はオンラインになったので、友達ができず、アルバイトもできず、家でじっとしており、寂しかったです。

秋田大学参加者

馬 欣宇	中国
シティヌル アイシャ	マレーシア
グエン レ ホアン ユン	ベトナム
コロコ ラブソン	ザンビア
王 宇軒	中国
グエン ニョ ホアン	ベトナム

秋田工業高等専門学校参加者

ヘーン チークーン	カンボジア
ムハマド ファイズ ビン アドナン	カンボジア

王 宇軒：中国出身で秋田大学大学院1年生です。昨年の4月から授業がオンラインになったが、研究室には時々行くことができました。

グエン ニュ ホアン：ベトナム出身で秋田大学の4年生です。大学が閉鎖され研究がどうなるか心配でしたが、先生の対応が良く、研究できました。来年就職で広島市に行きます。就職試験はオンラインで受けました。

アイシャ：マレーシア出身で秋田大学4年生です。大学が閉鎖され、実験ができなくて困りました。

コロコ ラブソン：ザンビア出身で秋田大学の大学院生です。今年9月には卒業予定です。3月に帰国したところコロナのため戻れなくなり、9月までザンビアにいました。博士課程の最後の年なのに研究ができませんでした。

ヘーン チークーン：カンボジア出身の秋田高専5年生です。ファイズと同じ学科です。秋田高専は普通に授業をしていましたので、ファイズのためにオンラインでサポートしました。

馬 欣宇：中国出身で秋田大学2年生です。秋田に来て2年目です。旅行が好きですが、今はどこにも行けません。大学に行くだけです。

コロナ禍で困ったこと、がんばったこと

カビール：次にコロナ禍でがんばったこと、困ったことについて話していただきましょう。

ムハマド ファイズ：マレーシアから8カ月くらい戻れなくて、留年しようかと思いました。でもオンラインでマレーシアでも勉強できるから大丈夫だ、と指導教官に言われ安心しました。マレーシアでもコロナであまり出かけられませんでした。

4月から愛知県の豊橋技術科学大学に進学します。高専の推薦の書類で合格できました。

コロコ ラブソン：私も7カ月間戻れなかったのですが、久しぶりに家族と一緒に大事な時間を過ごすことができました、2年も会っていなかったので…。長い間勉強ができなくて心配しましたが、どうにか論文を1つ書くことができました。コロナで家から出られませんでした。ザンビアではマスクをしないで外出すると罰せられました。

日本に帰って来た時、成田空港で2週間、秋田で2週間待機しなければならず大変でした。

アイシャ：私はマスクが苦手です。長くつけていると苦しくなるのが一番困ったことです。

5月頃からマレーシアの会社に就職します。就職試験はオンラインで面接しました。

馬 欣宇：オンラインでは勉強に集中できません。大学に行けず一人で勉強するのは難しい。大学で一緒だと、他の人が頑張っていると自分も頑張ろうという気になります。毎日料理するのも大変です。僕の得意料理はたこやきで、たこやき機械も買って楽しんでいます。帰国したいが、費用が高いので帰れません。

ヘーン チークーン：3月に帰国予定だったがやめました。大学に進学することにしていましたが、試験の日程などが変更になり大変でした。受験はオンラインで実施されました。北海道の大学に進学します。

王 宇軒：困っていることはアルバイトができないことです。コロナのことがあり恐ろしいので、探してもいません。

帰国したいけど、飛行機代が高くなっているし便数も少なくなっていてできないです。

グエン ニュ ホアン：家で料理をしています。困っているのは、ずっと家に居るので電気代がかかることです。また実験用の手袋不足で、実験を少なくしています。

グエン レ ホアン：帰国したいけど、お金もかかるし2週間待機しなければならないので、帰れません。



カピール：私が25年前日本に来た時は、インターネットもなかったし国際電話も簡単には利用できませんでした。手紙を2～3週間待っていました。

今は皆さん簡単に電話できますね。皆さんどれくらい電話していますか。

全員：週1～2回電話しています。顔もみられます。

コロナ禍後やってみたいこと

カピール：次にコロナ禍後にやってみたいことを話して下さい。

馬 欣宇：帰国したい。オンラインで話しているが、実際会って話すのが良い。

グエン レ ホアン：帰国したい。

王 宇軒：旅行したい。大阪や東京に行きたい。

ムハマド ファイズ：旅行したい。友達に会いたい。

コロコ ラブソン：旅行したい。スポーツが好きなのでスタジアムに行きたい。

アイシャ：ヨーロッパなどに旅行したい。

ヘーン チークーン：帰国したい。旅行したい。アルバイトをしてみたい。

グエン ニュ ホアン：友達や親せきに会いたい。

最後にカピール理事が語らいカフェに参加しての感想を聞くと、参加して楽しかった、皆の話が聞けて良かった、皆のコロナで大変だった様子が分かった、日頃研究室以外の人と話し合うことがなかったのいろいろな国の人と話し合えて良かったなどと話してくれた。コロナが収束して皆さんの希望が実現できることを願って、ZOOMを閉じた。

(文責 菅原 展子)

私の国際協力活動

秋田高校2年
平尾 織花

高校1年生の夏、日本ユネスコ協会主催の第6回カンボジアスタディツアーに参加しました。私がこのツアーに参加した目的は、世界寺子屋運動の現状や子供たちの授業風景を知り、現地の人々の声を聞くためでした。家庭訪問や寺子屋の訪問、現地の人々などの様子を見て感じたのは、カンボジアはどんな状況でも毎日を懸命に、前向きに生きていこうとする希望に満ち溢れる国だということ、そして、大きな夢を叶えるために勉強を一生懸命頑張っているたくさんの子供たちがいること、豊かさや幸せの基準はそれぞれの国の人々によって異なるため、相手国なりの幸せを尊重した上で国際協力、協働をしていくことが大切だということでした。この学びは、「現地の人々の声」を聞き、その実情を自分の目で見て感じたからこそ得られるものでした。そして私は、このカンボジアの本当の現状や世界寺子屋運動の素晴らしさをたくさんの人に知ってほしい、学びをもっと多くの人と共有したいと思い、帰国後に様々な活動を行ってきました。その活動の中から主に2つご報告いたします。

去年の5月に学校でJRC同好会を立ち上げました。現在、JRC同好会では、SDGs目標達成の一員となるため、私たちにできる身近なことから取り組んでいます。昨年度は、ツアーでの学びを共有しながら、カンボジアの地雷撤去や学校に通えない子供たちへの教育支援のための書き損じハガキ回収活動をし、カンボジアの寺子屋リーフレット制作プロジェクトを中心に活動しました。

書き損じハガキ回収活動では、部員全員で全クラス分の回収箱やポスターを作成して呼びかけを行い、たくさんの方々のご協力の下、全部で458枚のハガキが集まりました。JRC同好会は現在2年生11人、1年生3人の計14人で活動しており、自分を成長させたい！社会のために、世界のために何か自分にできることをしたい！という熱い志をもつ部員ばかりでお互いに良い刺激を与えながら高め合えることができ、とても楽しいです。今年度も活動の幅をさらに広げていきます。

また、1月30日には、カンボジアに行ったメンバーと「オンラインカンボジアスタディツアー」を開催しました。コロナの影響を受け、今年度のカンボジアスタディツアーに参加できなかった方々のために、私たちが学んだものをつなぐ機会をつくりたい、コロ



◀ JRC同好会の仲間とはがき回収ボックス



ナ禍のカンボジアに私たちは何ができるのかを一緒に考えたいと思い、日本ユネスコ協会連盟へ企画書を提案し、開催に至ることができました。このツアーでは、カンボジア事務所・寺子屋と中継を通し、寺子屋の学習者との交流やリーフレット代表作品の紹介、学校での世界寺子屋運動の取り組みについて代表校からの発表などを行いました。司会という立場ではありながらも、他の学生の意見や行っているユネスコ活動、コロナ禍でも夢をあきらめない現地の子供たちの姿を知ることができとても勉強になりました。今後も持続的に開催する方向で計画を進めています。



これらの貴重な体験はたくさんの方々のおかげからこそ行うことができ、今の私があります。いつも私の活動にアドバイスを下さり、導いて下さる秋田ユネスコ協会の皆様、一緒に校外活動をしてくれ、お互いに高め合える仲間、私のやりたいことを尊重してくれる家族。私は将来、国際協力に携わり、日本や世界で起きている問題に対して力になりたいと思っています。貧困や飢餓、環境問題など世界には多くの課題があります。それらを解決していけるのは私たち一人ひとりの行動です。その一人ひとりの行動はとても小さなものですが、積み重ねることによって自分を成長させることはもちろん、まわりをも動かす力になり、世界を変えることができると感じています。誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて、SDGs達成に向けて、これからもユネスコ活動の素晴らしさを伝え、自分にできることをしていきます。

金森秀夫・翠会員よりご寄附!

現在、山口県宇部市にお住まいで、本会顧問の金森秀夫・翠ご夫妻より、ご両名の米寿を記念し、2020年10月5日付けをもって、本会の発展のためにと、金100万円の寄附金をお寄せいただきました。



誠にありがたく、心より感謝を申し上げます。ご意向に沿って大切に活用させていただきます。

ご夫妻は、秋田在住時に長年にわたり要職を歴任し、本会の発展に尽力され、本会の隆盛期を築かれました。

ご夫妻ともにお元気に過ごしておられます。今後ともますます充実した日々を送られるとともに、本会の活動への変わらぬご助言・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(小林建一)

〈明桜高校イオンモール秋田文化祭〉

明桜高校ユネスコ同好会活動紹介

ユネスコスクール加盟校明桜高校では、ユネスコ同好会が活動している。

部員は現在1～3年生12人で、毎年「街頭募金活動」「外国人による日本語スピーチコンテスト」などのボランティア活動のほか、台湾の姉妹校の生徒の来校時には中心となって交流の企画・運営を行い、また留学生の日本語学習の支援などに取り組んでいる。

今年度は、9月22日にイオンモール秋田文化祭でユネスコ研究発表を行った。第1部として、作成した資料をスクリーンに写し、指導教員と生徒の掛け合いで、「ユネスコってどんな組織?」「詳しくなろう!SDGs」と題してユネスコを紹介した。第2部では、夏休みを利用してSDGsの「目標4:質の高い教育をみんなに」「目標16:平和と公正をすべての人に」について調べたことを、指導教員を聞き役にして発表した。

秋田ユネスコ協会としても、今後の活動の充実・発展を期待したい。

(小林建一)

『ハーモニーネット

Weeks』

「コロナ禍から見えてきたもの

そして、これから

大切にしたいもの」

令和2年度秋田県中央男女共同参画センター交流事業「ハーモニーネットWeeks」が10月24～11月8までの期間開催された。

今年度はコロナ感染拡大防止の観点から規模を縮小し、形を変えてそれぞれの団体が連携・協力しながら展示やワークショップ等の参加となった。残念ながら恒例のふれあいマーケットは中止を余儀なくされたが、パネル展示の充実などで活動紹介を通して世界の平和、未来遺産運動、寺子屋運動の取り組み等、市民に向けたメッセージを発信できた。



(小松弘子)

リレーエッセイ

募金活動

会員 岸部 ハマ子



二〇〇六年四月秋ユ協の会員になりました。私は秋ユ協の活動状況を実はよく知っておりませんでした。

七月の「民間ユネスコ運動の日」と定められた日にアフガニスタンの教育支援・寺子屋運動募金活動がありました。

まずアフガニスタンとは何処か、この国の状況は?なぜどのように支援する?私は知っていて市内の人々に呼びかけているのか、説明できるのか、私は募金活動は初めてで声も出ませんでした。

二〇一一年三月十一日東日本大震災が起きました。すさまじい惨状、圧倒的な現実を目にして何かをしなければならぬ、何ができるのか、無力さに震えあがりました。

しかし、日ユ協連は一週間で就学支援奨学金募金開始を決めました。私達は募金活動にすぐとりかかりました。

この時、私はこの募金開始を決めた日ユ協連へ感謝しました。私は無力だが募金活動支援はできる。しぜんと声を限りにお願ひし同じ気持ちの多くの人の募金に頭がさがりました。会員でよかったです。

「平和な世界の構築は教育によって育まれる」と今は答えられます。

ユネスコ東北ブロックオンライン会議



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、山口県宇部市で開催予定の全国大会、新潟市で開催予定の東北ブロック大会ともに中止となった。全国的に様々な活動が”不要不急”扱いになり、大きな行事のみならず日常的な会合も控えざるを得ない状況となっている。

そんな中で、東北ブロックの多くのユネスコ協会は、どのような影響を受けているのか、活動の停滞を食い止めるためどのような対策を講じているのか、そして今後どのように活動を進めていくか。2つの情報交換会がZOOMで実施された。

東北ブロック代表者会議

日時：令和3年1月29日(金) 15:00～16:50

主催：日本ユネスコ協会連盟

参加者：日ユ協 理事長、事務局長、事業部職員

東北ブロック代表理事

東北ブロック各県連絡協議会代表

議題1. ブロック研究会について

東北ブロック研究会は、2021年青森県、22年秋田県、23年山形県、24年福島県、25年宮城県、26年岩手県と輪番が決定している。他ブロックでは、ユネスコ協会の多い県が複数回担当し協会の少ない県の負担を減らす工夫をしている。東北ブロックでも26年以降の輪番について、このような形を取り入れるか今後検討する。

議題2. 全国大会の輪番制について

2020年度より全国大会はブロック輪番制で運営されることが決定しており、2027年度あたりに東北ブロックに順番が回ってくる。今後議論を深めていく必要がある。

議題3. コロナ禍におけるユネスコ協会の活動状況

すべての協会でコロナの影響を受けており、活動が中止、縮小という状況にある。

議題4. 組織内デジタル化推進の進捗について

日ユ協事務局から、各地ユネスコ協会、日ユ協連やユネスコ協会間の情報共有を促進するために、組織内のデジタル化をより一層推進することが重要であるという意見が述べられた。しかしいずれの協会も会員の高齢化が進み、デジタル化への取り組みは遅れており、難しい面があるということであった。

東北地区ユネスコ協会 オンライン情報交換会

日時：令和2年12月24日(木) 11:00～12:00

主催：東北地方ESD活動支援センター

参加者：東北地区ユネスコ協会16名

コロナ禍とユネスコ活動

- ほぼ全てのユネスコ協会で、コロナの影響が見られ、活動の中止や縮小を余儀なくされている。
- 仙台ユネスコ協会ではZOOMを活用した企画を展開している、会場を借りる必要がなく、講師の幅も広がり気軽に催事を開催している。
- 会津ユネスコ協会では会員の大半が高齢でリモートに対応できない。リモートだけでは様々な活動が取り組みにくい現実を知ってほしい。

ユネスコスクールとユネスコ協会

- ユネスコスクールの活動がユネスコ協会に伝わっていないのではないかと。ユネスコスクールに登録することの価値をもっと知ってもらいたい。
- 新学習指導要領の前文にはESDについて明記されている。各協会が学校にアプローチして、学校教育の中でESD、ユネスコの精神にふれて考える機会を作っていくことが大事だ。

これを機に、各協会の活動を広く情報発信して課題を共有し、相互に協力しあう場を作る、そのような東北の輪を少しずつ広げていきたいと話し合った。

(菅原 展子)

4月以降の活動(4月～9月)

News Board

| 総会のお知らせ

- ・日時 4月25日(日)
- ・場所 遊学舎 研修室

[文化講座]

- ・時間 13:30～15:00
- ・講師：秋田大学理工学部准教授 三浦 武氏
- ・演題：秋田県における 民俗舞踊の特徴

[2021年度・通常総会]

- ・時間 15:15～16:15

| ユネスコ交流亭

- 5月 草木谷を守る会との交流

| ユース・セミナー

- 7月下旬開催予定
- ・日時、場所等詳細未定

| 平和の鐘を鳴らそう

- ・日時 8月15日(火)
- ・場所 千秋公園時鐘ほか(予定)

コロナ禍でののがき回収運動

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、恒例の書き損じはがき回収キャンペーンを実施することはできなかった。

しかし、会員が手分けしてできるだけ書き損じはがきを収集することとし、各人工夫して回収に努めた。

例年には及ばなかったが、昨今の状況では精一杯だったと言えよう。

2020年度 ユネスコ・コアアクション

書き損じはがき回収	1,386枚 (72,079円)
寺子屋募金	25,200円